

# あした 障害者の未来を見つめて

財団法人・岡山県民主教育研究会では、人権を基軸に福祉、教育、労働を捉え直しながら県民全体の人権伸長のとりくみに寄与できること念頭に公益性を高めていきたいと思い、その一環として、人権ブックレットのシリーズ化を企画しました。第1号として、障害者の生活と権利の確立のとりくみの最前線に立たれている吉野一正氏にお願いしました。

基本的人権が憲法で謳われ、障害者自らの奮闘と多くの

人々の支援もあいまって、障害者の人権確立も前進し、自己決定が基本とする時代を迎えました。その一方、公的部門の切り捨てと自己責任論をさらに強調することで生存権そのものが奪われ、障害者施策も後退する事態も惹起しています。そういう情勢を捉えて、吉野先生に、先生が古希を迎えられた時の講演をもとに、新たな情勢なども加筆していただきました。このブックレットを「人権獲得の努力の成果」として、ともに学びたいと考えています。是非ご活用下さい。



## 著者紹介



### 吉野 一正 (よしの かずまさ)

1941年2月 現在の大韓民国、鎮海生まれ

1969年4月～2001年3月

岡山県立岡山養護学校教諭

現在

障害者の生活と権利を守る岡山県連絡協議会事務局長

社会福祉法人「結い」理事

NPO 法人地域人権みんなの会理事

NPO 法人おかやま人権研究センター理事

林友の会幹事